



Walk with Children めぐる

大人 子供

せいび

190号
2023年5月

「わたしは主のはしためです。おことばどおり、この身になりますように。」
(ルカ1章38節)

校長 シスター 小島 理恵

5月は、特別にマリア様の「清さ」に目を向ける月でもあります。子どもたちがマリア様のような清い心を保ちながら、自分に与えられているミッション・使命に気づき、明るく前向きに生活できるように祈りたいと思います。

サレジアン国際学園目黒星美小学校がスタートして、早一か月が過ぎました。1年生の教室からは元気な声が聞こえてきたり、2年生と一緒に学校探検をしたりと、徐々に小学校生活にも慣れてきたようです。

さて、今年度の朝は、3月までとは一味違う活気が各教室に見られます。スマイルオンラインでの学習です。歌声が響いてきたり、クイズ感覚で繰り返しながら単語を覚えたり、個人的にテストをしたりと、楽しい英語の学習が行われています。10分間という短い時間ではありますが、この積み重ねが必ずや大きな力に繋がることを信じ、これからも楽しみながら英語に触れる時間を大事にして参りたいと思います。

コンネッショナー
Conessione

～つながり～

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。
そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。



ぼくが布地で、神父様、あなたは仕立て屋さんですね

聖ドメニコ・サヴィオの言葉

「マクラの小三治」とも呼ばれた人間国宝柳家小三治さんの「初天神」は、まさに名人芸。右に出るものはいないと言われていました。そのマクラで、小三治さんは「小児は白き糸のごとし。汚れた手で触ってしまって、汚れを洗い落とそうとしたところで、元の白さにはもう戻らない。」と言います。

聖ドメニコ・サヴィオは、ドン・ボスコの寄宿舎で過ごした少年の一人で、その頃も、現代でも、子ども達のよいお手本として大切にしている聖人です。少年ドメニコは、神様のみ心に従って生活していることを見出され、ドン・ボスコのもとへと導かれました。冒頭は、ドン・ボスコに初めて会ったときにドン・ボスコに語った言葉です。

真っ白な糸である子どもに対して、自身が美しく輝く着物になりたいと思ったり、大人がそうなるしてほしいと思ったりしがちです。ドメニコ・サヴィオは、このように続けます。「神様のために素晴らしい着物を作ってください。」どんな着物になるかよりも、誰のため、何のための着物になるのかが大切だと教えてくれています。

この本おすすめ！！ ドン・ボスコ社『少年ドメニコ・サヴィオ』
ドメニコ・サヴィオについて親子で考えることができますよ。
<https://www.donboscosha.com/product/2106>



入学式

4月7日

喜びに満ち溢れた1年生が教職員、保護者、そして優しい6年生に見守られて入学式を迎えました。緊張したおもむきで正門をくぐった1年生も6年生の温かい声かけを受けて、ほっとした表情になりました。101名の新入生が目黒星美に仲間入りです。

対面式

4月10日

全校児童で1年生をむかえる対面式。体育館には1・2・5・6年生が集まり、3・4年生は教室でテレビ放送での参加となりました。2年生が作ったメダルを首からさげた新1年生は、ペアの6年生と共に喜びを感じながら体育館に入場しました。5年生のリズム表現や6年生の歌の演奏、クラスの紹介動画を楽しみました。



2年生でかわったこと

2年生

2年生でかわったことが2つあります。まず、クラスがえをしたことです。さいしょはきんちょうしたけれど、きょうしつに入ると、しているおともだちがたくさんいたのでほっとしました。たんにんの先生もやさしかったのであんしんしました。あたらしいおともだちもつくりたいです。

そして、1年生が入っておにいさんになったことです。ぼくは、お手本になるようにしっかりれつにならんだり、こまっていたら「どうしたの」ときいてあげたり、先生につたえてあげたりしたいです。

最高学年になって

6年生

4月6日木曜日、ぼくは最高学年に進級しました。その翌日は入学式に参加し、ペアの1年生と出会いました。今年の1年生はとても飲み込みが早く、1回言ったことは大体覚えてくれました。自分の1年生の記憶だと、6年生の言っていることがよく分からなくて少し苦労していました。一緒に本を読む時間も増え、ペアの子の好きなものなどが何となく分かるようになり、口数も増え、今では笑顔も見せてくれるようになっていました。1年生と関わって勉強になったのは、一方的に質問しても心は開いてくれないということです。相手の答えを聞いてそれを尊重して会話を繋げていくことが仲良くなる1番の方法だと気づきました。今後もより仲良くなって分かり合えればいいなと思っています。

新1年生の保護者より

新緑が鮮やかに芽吹き、風も柔らかな季節となりました。入学式で、優しい先生方や6年生に見守られ、嬉しそうに入場する新1年生の姿がとても可愛らしく、今も目に焼き付いております。我が家は御校3年生になる長女がおり、一緒に小学校へ通う日を親子共々楽しみにしておりました。登校初日、大きなドンボスコバッグをしっかりと両手で握りしめて背負う1年生の妹と、後ろから優しく見守りながら歩く姉の姿は微笑ましく、何ものにも代えがたい幸せを感じました。長女は入学してから毎日、通学路の歩道橋の上から見える富士山を主人と共に眺め、点数を付けております。この春からは、妹も一緒に富士山を眺め、「雨の次の日は空気が澄んで綺麗に見えること」「寒い冬になると空気が乾燥してよく見えること」など、姉に教えてもらったことを嬉しそうに話してくれます。姉妹揃って星美の子として迎えていただけたこと、心より感謝申し上げます。

子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合い、寄り添ってくださる先生方のあたたかな教育環境のもと、お友達と学び合い成長していく大切な小学校生活を、家族で見守り支えていきたいと思っております。

1年生 保護者